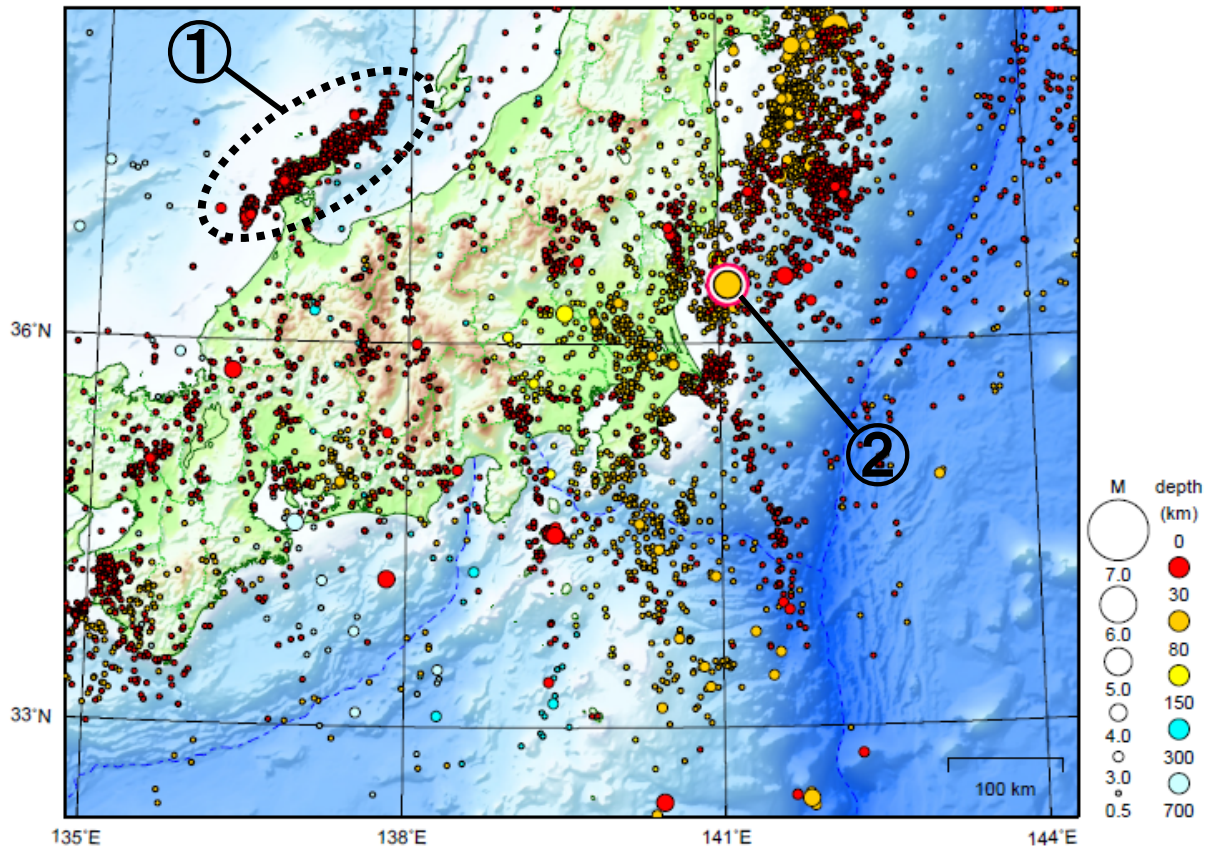


関東・中部地方

2025/08/01 00:00 ~ 2025/08/31 24:00

N=7170



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 「令和 6 年能登半島地震」の地震活動域では、8 月中に震度 1 以上を観測した地震が 13 回（震度 2：1 回、震度 1：12 回）発生した。このうち最大規模の地震は 17 日に発生した M3.9 の地震（最大震度 2）である。
- ② 8 月 14 日に茨城県沖で M5.2 の地震（最大震度 4）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

「令和6年能登半島地震」の地震活動

震央分布図

(2020年12月1日～2025年8月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 3.0$)

震源のプロット

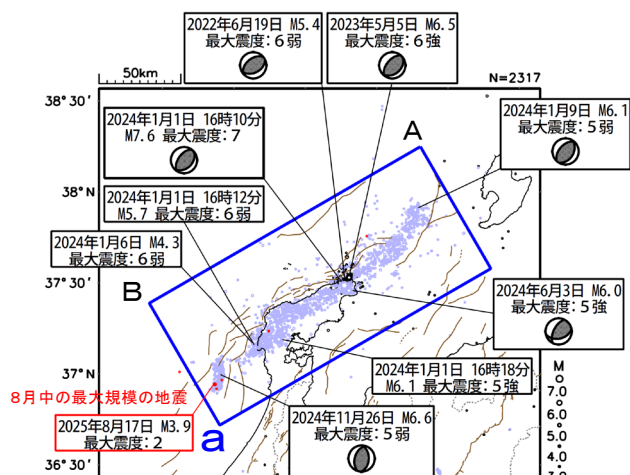
黒色 2020年12月1日～2023年12月31日

水色 2024年1月1日～2025年7月31日

赤色 2025年8月1日～31日

吹き出しは最大震度6弱以上の地震、 $M6.0$ 以上の地震
及び8月中の最大規模の地震

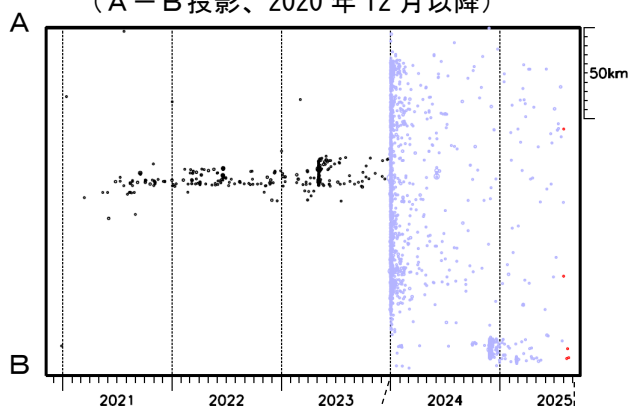
図中の発震機構はCMT解



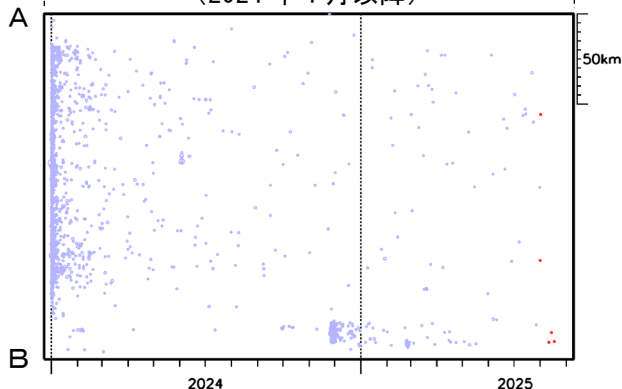
図中の茶色の線は、地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す。

領域 a 内の時空間分布図

(A-B 投影、2020年12月以降)

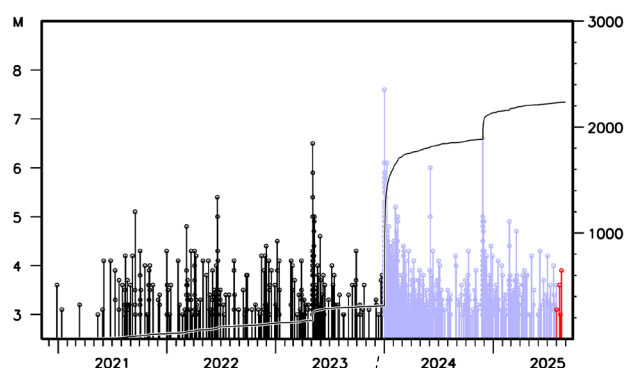


(2024年1月以降)

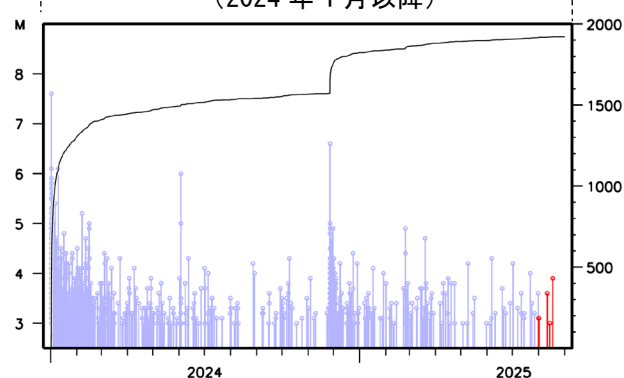


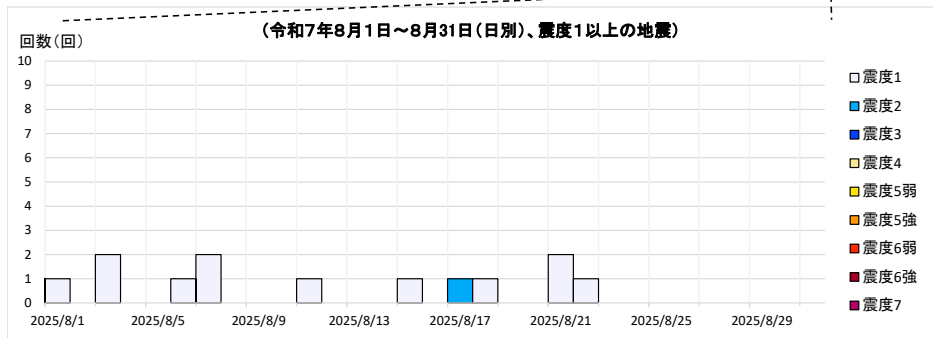
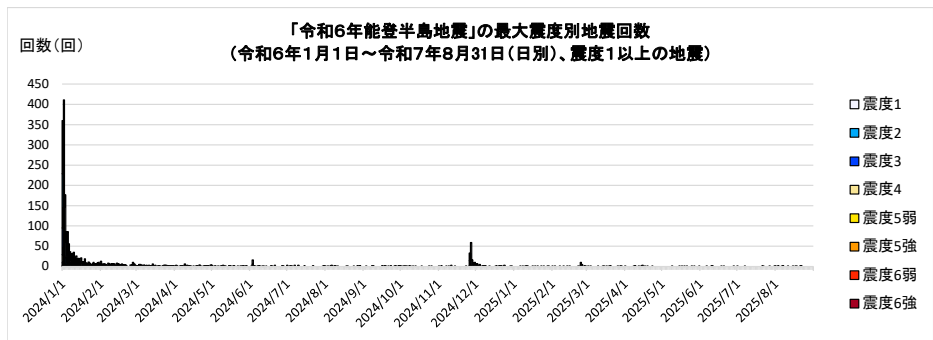
領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

(2020年12月以降)

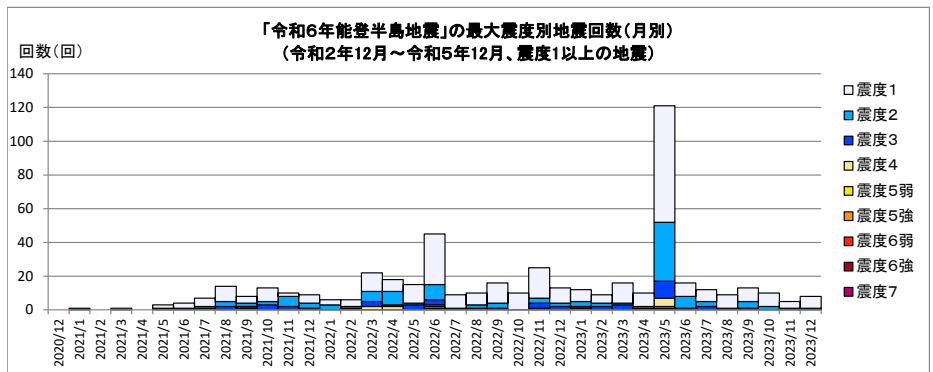


(2024年1月以降)





【令和2(2020)年12月～令和5(2023)年12月の発生回数(月別)】



【令和2(2020)年12月以降の発生回数(年別)】

年別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
2020/12/1－12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2021/1/1－12/31	39	19	10	1	1	0	0	0	0	0	70	70	
2022/1/1－12/31	130	39	18	6	0	1	1	0	0	195	265		
2023/1/1－12/31	151	61	21	6	0	1	0	1	0	241	506	2023/6/1～ 12/31の震度1 以上を観測した 回数 合計73回 月平均10.4回 月中央値10.0回	
総計(2020～2023)	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506			

2020～2023	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506	506	
2024/1/1～31	941	395	159	45	7	8	2	0	1	1558	2064	
2024/2/1～29	95	34	12	3	0	0	0	0	0	144	2208	
2024/3/1～31	49	17	4	0	0	0	0	0	0	70	2278	
2024/4/1～30	32	9	4	0	0	0	0	0	0	45	2323	
2024/5/1～31	20	6	2	0	0	0	0	0	0	28	2351	
2024/6/1～30	27	5	1	1	0	1	0	0	0	35	2386	
2024/7/1～31	16	3	1	0	0	0	0	0	0	20	2406	
2024/8/1～31	13	4	1	0	0	0	0	0	0	18	2424	
2024/9/1～30	14	4	0	0	0	0	0	0	0	18	2442	
2024/10/1～31	8	6	0	0	0	0	0	0	0	14	2456	
2024/11/1～30	88	41	5	1	1	0	0	0	0	136	2592	
2024/12/1～31	24	12	1	0	0	0	0	0	0	37	2629	
2025/1/1～31	8	2	2	0	0	0	0	0	0	12	2641	
2025/2/1～28	18	5	2	0	0	0	0	0	0	25	2666	
2025/3/1～31	7	3	1	1	0	0	0	0	0	12	2678	
2025/4/1～30	10	2	0	0	0	0	0	0	0	12	2690	
2025/5/1～31	6	1	1	0	0	0	0	0	0	8	2698	
2025/6/1～30	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	2705	
2025/7/1～31	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2711	
2025/8/1～31	12	1	0	0	0	0	0	0	0	13	2724	
総計(2020/12/1～2025/8/31)	1720	670	245	64	9	11	3	1	1		2724	

※2024/1/1以降は地震活動の領域が広がったことから、対象領域を拡大して地震回数をカウントしている。

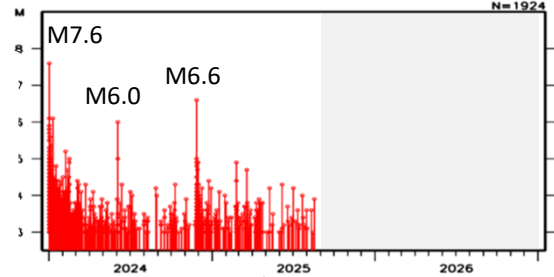
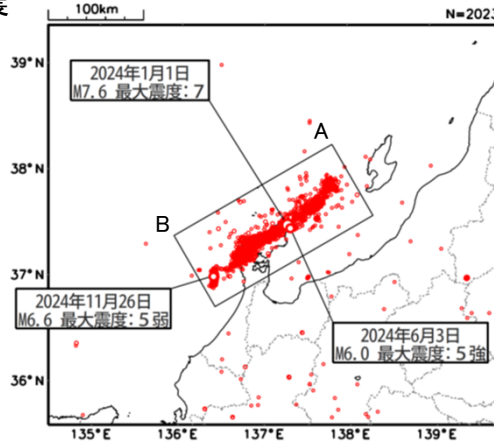
陸のプレート内で発生した過去の大地震との活動比較(36か月間)

M-T図

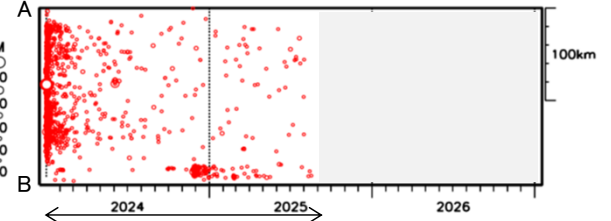
2024. 1. 1- M $\geq$ 3.0

令和6年能登半島地震

(M7.6, 最大震度7)



時空間分布図(A-B投影)



2024年1月1日~2025年8月31日

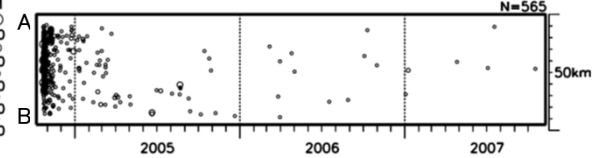
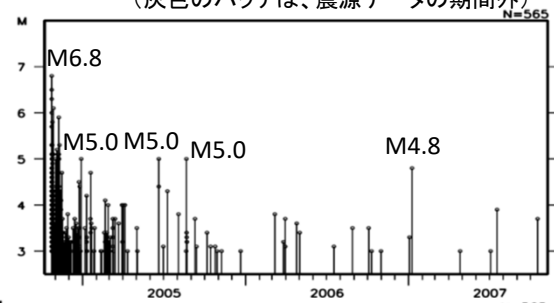
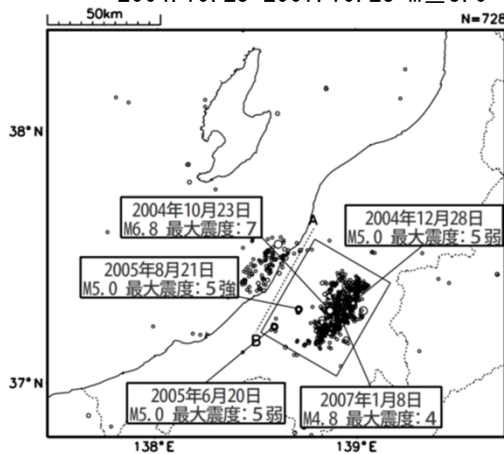
(灰色のハッチは、震源データの期間外)

2004. 10. 23-2007. 10. 23 M $\geq$ 3.0

平成16年(2004年)

新潟県中越地震

(M6.8, 最大震度7)

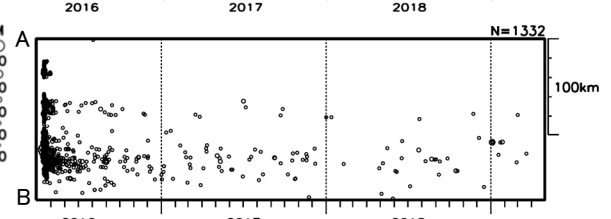
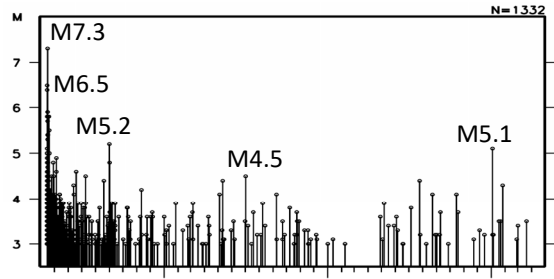
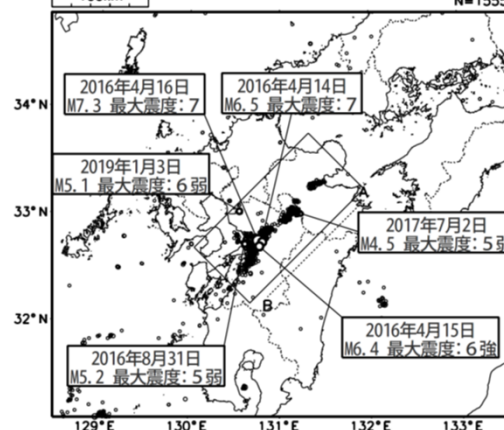


2016. 4. 14-2019. 4. 14 M $\geq$ 3.0

平成28年(2016年)

熊本地震

(M6.5, 最大震度7,
M7.3, 最大震度7)

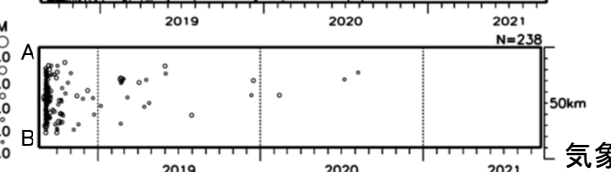
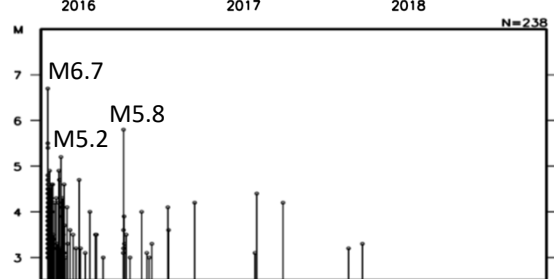
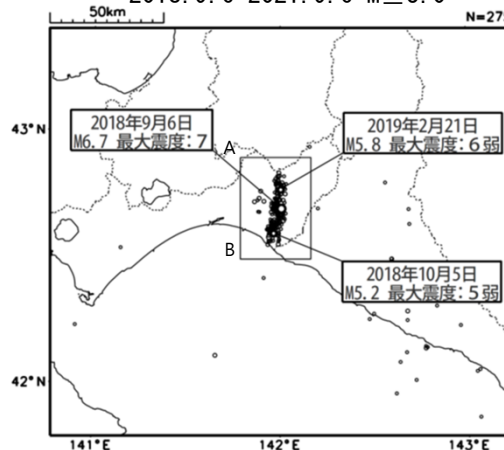


2018. 9. 6-2021. 9. 6 M $\geq$ 3.0

平成30年

北海道胆振東部地震

(M6.7, 最大震度7)



気象庁作成

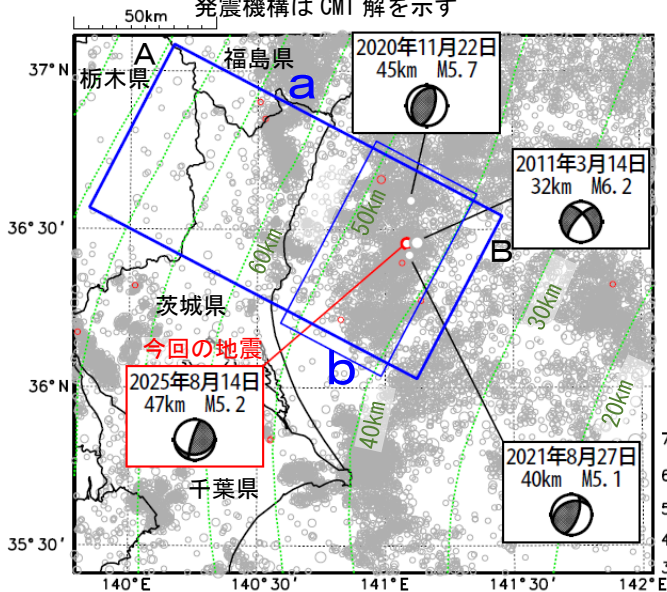
8月14日 茨城県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2025年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)

2025年8月の地震を赤色で表示

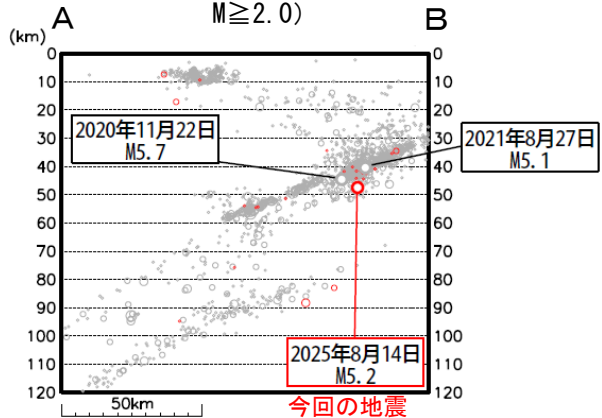
発震機構はCMT解を示す



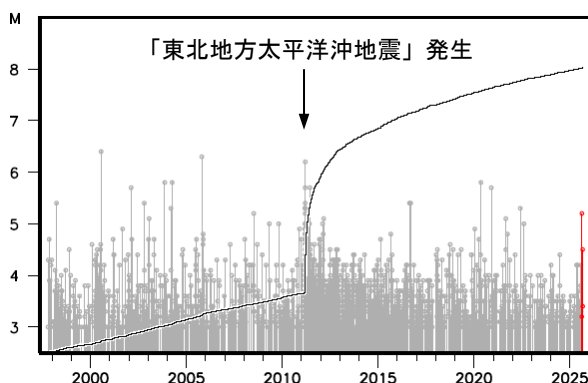
震央分布図中の緑色の破線は、弘瀬・他 (2008) による太平洋プレート上面のおおよその深さを示す。

領域a内の断面図 (A-B投影)

(2020年9月1日～2025年8月31日、
 $M \geq 2.0$)



領域b内のM-T図及び回数積算図



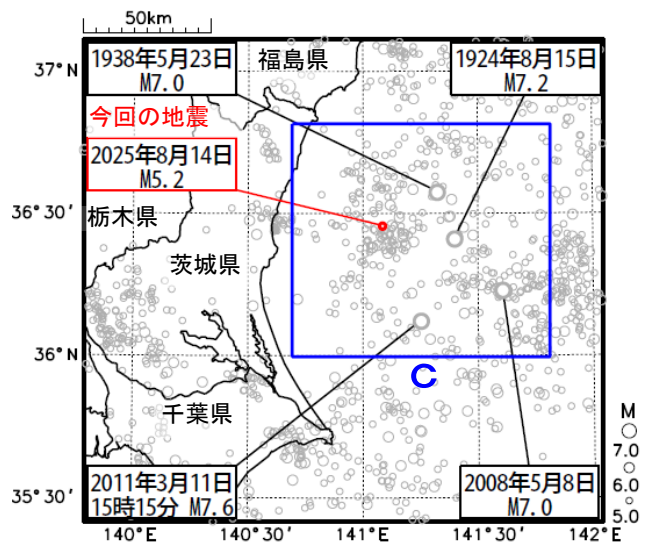
2025年8月14日04時13分に茨城県沖の深さ47kmで $M 5.2$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構 (CMT解) は、北西-南東方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域b) では、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、「東北地方太平洋沖地震」) の発生以降、地震の発生数が増加した。2011年3月14日には $M 6.2$ の地震 (最大震度5弱) の地震が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M 6.0$ 以上の地震がしばしば発生している。1938年5月23日に発生した $M 7.0$ の地震では、家屋一部破損250棟等の被害 (被害は「験震時報第10巻」による) のほか、福島県いわき市小浜浜で83cm (全振幅) の津波が観測された。また、2011年3月11日15時15分に発生した $M 7.6$ の地震 (最大震度6強) は、「東北地方太平洋沖地震」の最大余震である。

震央分布図

(1919年1月1日～2025年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図

